

株式会社エクセルエンジニアリング

離床・徘徊防止センサー

離床・徘徊・赤外線・離床徘徊 わかーる6900

取扱説明書 保証書

目次

安全上のご注意	2
各部の名称	5
機器の設置と動作.....	6
受信範囲の確認	7
その他の機能	7
無線センサーの登録と設置と動作	8
こんなときには・・・（故障とお考えになる前に）	11
主な仕様	11
保証書(保証規定)	12

セット内容

送信機：1台 受信機：1台

ACアダプター：2個（送信機用1個、受信機用1個）

「離床わかーる6900」をご使用の場合：

コードレスベッドセンサーパッド1枚 センサー用送信機1台

「徘徊わかーる6900」をご使用の場合：

コードレスフロアセンサーマット1枚 センサー用送信機1台

「赤外線わかーる6900」をご使用の場合：

コードレス赤外線センサー1台

「離床徘徊わかーる6900」をご使用の場合：

コードレスロングライフマット1枚 センサー用送信機1台

保証書付き取扱説明書：1冊（本書）

このたびは「わかーる6900」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。取扱説明書に不明な
点がございましたら、取扱説明書裏面の「お客様相談室」までお問い合わせ下さい。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読み下さい

- 本製品はあくまでも介護者さんご自身がご利用さんの安全を見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありません。
- 安全性などに関して保証を行うものではなく、万一なんらかの損害が発生したとしても一切の責任を免責させていただきますのでご了承下さい。
- 一般家庭でのご使用を目的とした製品です。病院などでの業務用にはご使用にならないでください。
- 本製品は、無線を使用している為、周囲の環境などによって性能に大きな差が現れます。
- 他の無線機器や電気機器などの影響を受ける場合や、影響を与える場合があります。
- 受信機（以下「モニター」）あるいは送信機（以下「カメラ」）が次のような場所にある場合は、電波がさえぎられて動作しない場合があります。
 - 鉄製のドアやシャッター越しなど
 - 鉄製の大きな家具（ロッカーなど）の近く
 - 地下室やガレージ（車庫など）
 - 鉄筋コンクリートの壁や鉄骨に多く囲まれている場所（階段やエレベーターなど）
- 初めてご使用になる場合や、設置場所を変えた時には、動作可能範囲を必ずご確認ください。

安全上のご注意

- 本製品を正しく安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この安全上のご注意をよく読んで正しくお使いください。
※品質、性能向上、その他の事情で部品を変更することがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防ぐ為の内容を記載しています。必ずお守り下さい。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※「注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしてはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	 ACアダプターをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。



警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。

次のようなときは、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターを使用している場合はコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



ACアダプターを
コンセントから抜く

● 煙が出ている、変なおいや音をする（異常状態）

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本機の内部に水や異物などが入った

● プラグやコード類が異常に熱くなった

● 落としたり、破損した



分解禁止

分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



水ぬれ禁止

ぬらさない

本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしない

発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



禁止

ACアダプター接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより火災の原因となります。

- ACアダプターはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- コードは束ねたまま使用しない。
- コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしない。（たこ足配線など）



ぬれ手禁止

ACアダプターを抜くときの注意

- ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、ACアダプター本体を持って抜いてください。コードを引っばるとコードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。
- 電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。破損し、感電や故障の原因となります。



禁止

本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

充電電池使用上の注意

充電電池の使い方を誤ると、充電電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の充電電池は使用しない。
- 充電電池を分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- もし、液もれが起こったときは、使用を中止してください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 一般のゴミと一緒に捨てない。発火・環境破壊の原因となることがあります。



禁止

ACアダプターのコードを傷つけない

無理な使い方をするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

ACアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



指示

差し込み部分は定期的に点検をする

定期的にACアダプターを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、汚れなどを取り除いてください。ほこりによりショートや発熱が起こり、火災の原因となります。



禁止

近くに精密機器がある場所では使用しない

周辺機器への影響や本機が影響を受ける事による重大事故の原因となることがあります。

⚠ 注 意



禁 止

使用中の情報機器やテレビ・音響機器の近くに置かない

テレビなどに雑音が生じたり、磁気ディスクに悪影響を与える原因となることがあります。



禁 止

不安定な場所に置かない

不安定または振動の多い場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

本機の上に重いものを置かない

本機の故障の原因となることがあります。



禁 止

電気毛布・電気あんかなどの電気製品と同時使用しない

本機の故障や感電の原因となることがあります。



禁 止

設置場所に注意

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
- 使用温度範囲（0℃～60℃の間）以外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。



長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



万が一、水などの液体がかかった場合は直ちにACアダプターをコンセントから抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

電波について

■本機の使用周波数に関わるご注意

本機は、2.4GHz帯の電波を使用する無線設備です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機のACアダプターを抜いて、お客様相談室（☎ 12ページ）にご連絡いただき混信回避のための処置等（例えば、パーティションの処置等）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合等何かお困りのことが起きたときは、お客様相談室（☎ 12ページ）へお問い合わせください。

2.4FH4

電波干渉について

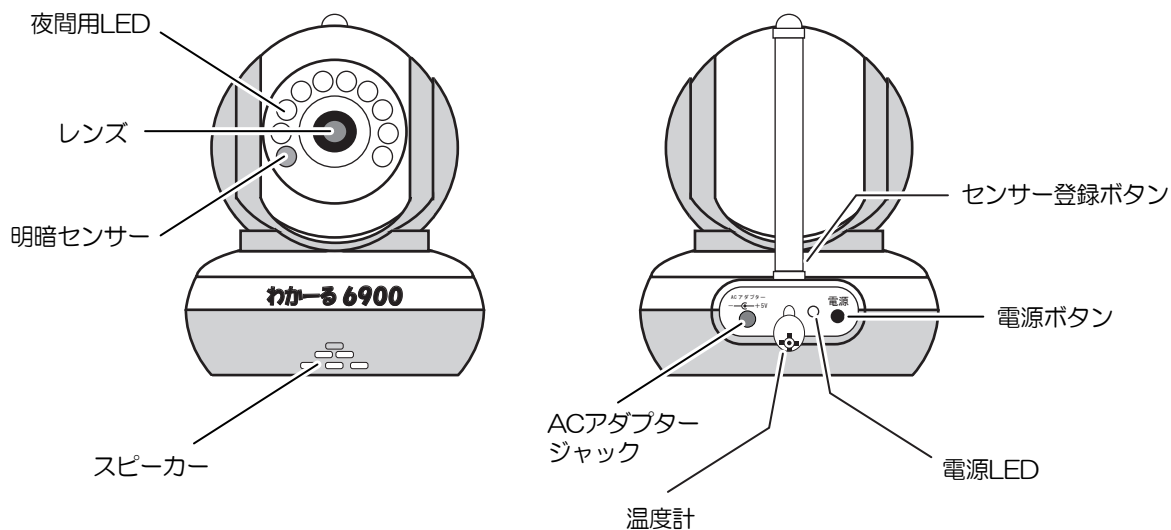
本機は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯では、電子レンジや無線LAN機器などが電波を使用していますので、電波干渉により、動作不良をおこす場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。

その他

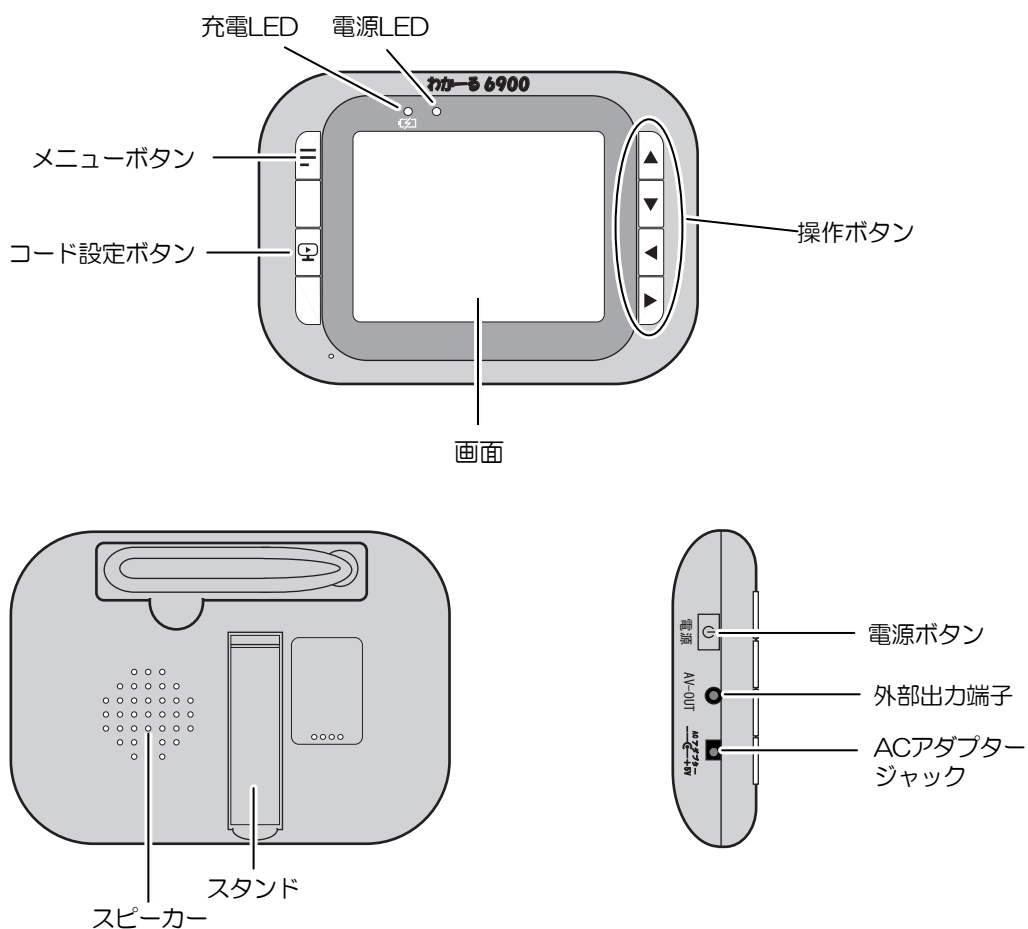
■分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際はお買上げの販売店に修理をご依頼ください。）

各部の名称

【送信機】



【受信機】



機器の設置と動作

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、充電電池を充電をしてから使用してください。



送受信機の設置場所は次のような場所をお選びください。

- 湿気の少ないところ ●埃の少ないところ ●平らで振動の少ないところ
- 換気の良いところ ●家庭用コンセントが近くにあるところ



次のような物の近くには設置しないで下さい。送信可能範囲が狭くなります。

- 強化コンクリート ●鏡 ●金属製の棚 ●携帯電話、通話機等強い電磁波を発する物の近く

受信機の設置と動作

1. 受信機を画面が見やすい場所に設置します。
2. AC アダプターを接続しコンセントに差し込みます。



・内蔵の充電電池でも使用できますが、電池切れを避けるため、AC アダプターを接続してご使用をお勧めします。充電電池は、停電時などの予備や短時間の携帯使用時にご利用ください。

・AC アダプターがつながったまま受信機を移動すると、コードが引っぱられて切れたり抜けたりすることがあります。ケガや故障の原因となりますので受信機の場所を移動する、携帯して使用する際は AC アダプターを外してください。

3. **【電源ボタン】**を3秒間押して電源を入れます。**電源LED が点灯**します。画面は通常は消えており、センサーを動作させたときのみ送信機の映像が表示されます。ボタン操作をすると、画面は点灯しますが送信機の映像は表示されません。

4. 必要に応じて明るさ、送信機の向きを調節します。

送信機の向き

画面に送信機の映像が表示されている状態で、操作ボタンで上下左右に送信機の向きを変更できます。

明るさ

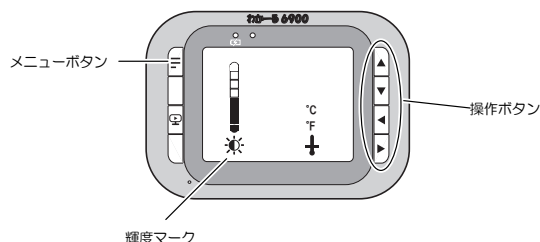
メニューボタンを押して画面にメニューを表示し、操作ボタンの左右で輝度マークに合わせて、操作ボタンの上下で明るさを変更できます。



画面はボタン操作がない状態で30秒経過すると自動的に消えます。



電源をOFFにするときは、一度ボタンを押して画面が点灯した状態にしてから電源ボタンを長押しします。



受信機の充電動作

電源OFFの状態ではACアダプターを接続する、またはACアダプターを接続した状態で受信機の電源をOFFにすると充電の状態を示す画面が表示されます。

充電中の場合は充電LEDが点灯し、充電中を示す画面が表示されます。

充電が完了していると充電LEDは消灯して、充電完了を示す画面が表示されます。

どちらの場合も画面の表示は一定時間後に終了します。

受信機の表示について

受信機が送信機との通信を確認できない場合、画面上に“no signal”と表示されアラームが鳴り続けます。

送信機の電源が入っていない場合は電源を入れると表示とアラームは消えます。

また受信機と送信機の距離が離れすぎている場合は、距離を近づけると表示が消えます。

送信機の設置と動作

1. 送信機をモニターする利用者さんから 1 ～ 2m 離して平らな場所に設置してください。
2. AC アダプターを接続しコンセントに差し込みます。



・内蔵の充電電池でも動作しますが、電池切れを避けるため、AC アダプターを接続してご使用ください。充電電池は、停電時などの予備としてご使用ください。

・AC アダプターがつながったまま送信機を移動すると、コードが引っぱられて切れたり抜けたりすることがあります。ケガや故障の原因となりますので送信機の位置を変更する際は AC アダプターを外してください。

3. 【電源ボタン】を 3 秒間押して電源を入れます。電源 LED が点灯します。



電源LEDの表示について

電源ON	緑点灯
電源ON（電池残量少）	緑点滅
電源ON（充電中）	橙点灯
電源OFF	消灯
電源OFF（充電中）	赤点灯

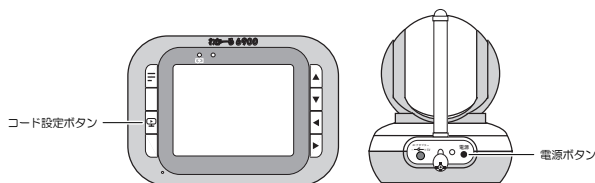
送信機の登録

1. 受信機、送信機両方の電源をONにします。
2. 受信機のコード設定ボタンを3秒間押し続けます。
画面上に”press PAIR on cam”と表示され、登録待機状態になります。

3. 受信機が登録待機中の間に送信機の電源ボタンを2回続けて押します。
”press PAIR on cam”の表示が消えます。



・登録待機は15秒間送信機側から登録の操作が行われないと”PAIR FAIL”と表示されて解除されます。
・送信機の電源ボタンを長押ししてしまうと電源が切れてしまうのでご注意ください。
・受信機と送信機のボタン操作の手順は逆でも登録可能です。



受信範囲の確認

ご使用の前に、必ず受信機と送信機の受信範囲を確認してください。

受信範囲のテストは、送信機を使用する場所に設置し、受信機を設置する場所または持ち運びが想定される場所でセンサーを動作させ映像が映るかを確認します。

また受信機の画面左上には受信感度を示すアンテナが表示されますので受信範囲確認の参考にしてください。

うまく映らない場合、送信機または受信機、もしくは両方の機器の位置を変えることで通信状況が良くなることがあります。



通信状況を改善するには：

- 受信機と送信機の位置を近づける。
- 受信機を他の無線機器（コードレス電話、トランシーバー等）から離す。少し離すだけで通信状況が改善することがあります。
- 本製品を複数台使用、または同等の製品を併用すると互いに干渉する場合があります。同時に使用していて通信が安定しない場合は、他の機器の電源を切ると改善する可能性があります。

その他の機能

温度表示

受信機には送信機の周囲の温度を表示する機能があります。

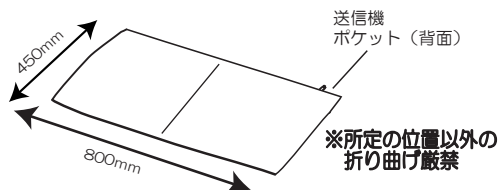
またメニュー画面で温度表示の摂氏（℃）／華氏（℉）切替が可能です。

ナイトビジョン：

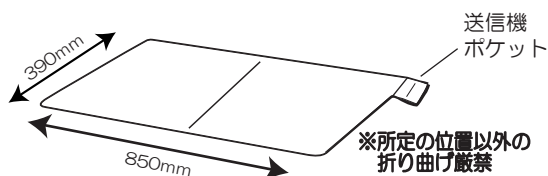
暗くなると送信機は自動的に赤外線カメラに切り替わり夜間でもクリアな画像を送信します。

無線センサーの登録と設置と動作

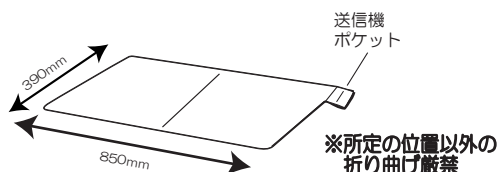
徘徊わカー6900用 コードレスフロアセンサーマット



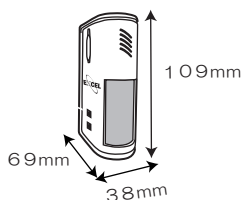
離床徘徊わカー6900用 コードレスロングライフマット



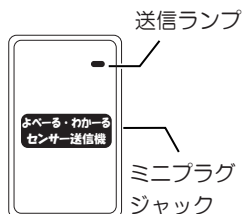
離床わカー6900用 コードレスベッドセンサーパッド



赤外線わカー6900用 コードレス赤外線センサー



離床・徘徊・離床徘徊わカー6900用 コードレスセンサー用送信機



※赤外線センサーは本体内に無線送信機能を内蔵していますので、本送信機は不要です。

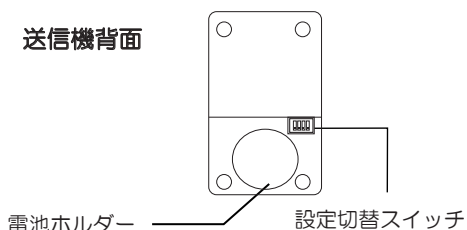
コードレスセンサー用送信機設定方法

コードレスセンサー用送信機は背面のスイッチを切替えることで離床検知、徘徊検知を使い分けることが可能です。ご使用のセンサーに合わせて設定をしてください。

コードレスロングライフマットはベッドに置いての離床検知、床に置いての徘徊検知どちらにも使用することが出来ます。ご利用方法に合わせて設定をしてください。

設定完了後センサーのミニプラグをミニプラグジャックに接続し、送信機ポケットに入れてください。

送信機背面



スイッチ位置					
動作モード	離床				徘徊
発報時間	0秒	1秒	2秒	4秒	—

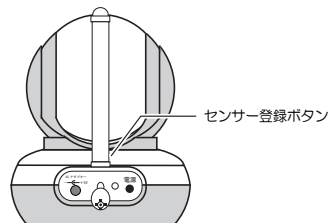
通常設定

ベッドでの使用：離床、2秒 / 床に置いての使用：徘徊

コードレスセンサー登録方法

コードレスセンサーをわカー6900と連動して使用するには登録が必要です。

1. 送信機の電源をONにします。
2. 背面にあるセンサー登録ボタンを押します。
3. コードレスセンサーを動作させると送信機から音が鳴り、登録が完了します。



センサー登録ボタンを押してから30秒間コードレスセンサーの動作を行わないと登録モードは解除されます。

アラーム音の停止

コードレスセンサーを動作させると受信から30秒間アラーム音が鳴り続け、送信機の映像が表示されます。アラーム音を手動で止める場合はモニターの電源ボタンを押すことでアラーム音を停止することが可能です。映像はアラーム音を手動で停止しても30秒間表示され続けます。

! 電源ボタンを押し続けると受信機の電源がOFFになりますので、ご注意ください。

コードレスセンサー用送信機電池交換通知機能

センサーを動作させて受信機からアラームが鳴った際に、コードレスセンサー用送信機の電池が消耗していると画面上に“Please replace sensor batteries”と表示され一定間隔で音が鳴り続けます。表示が出ましたらコードレスセンサー用送信機の電池を交換してください。モニターの表示と音を消すには電池を交換後に再度センサーを動作させる必要があります。

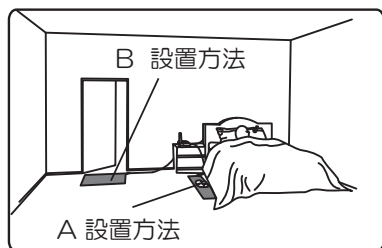
! 一旦表示、音を止めるにはモニターの電源をOFFにすることも可能ですが、再度電源をONにすると再び表示されます。

「コードレスフロアセンサー」「コードレスロングライフマット（徘徊検知）」の設置と動作

徘徊の危険のある利用者さんがベッドから降りたり、部屋から出ようとした時に検知するために使用します。

1. ベッド横（A設置方法）や部屋の出入り口（B設置方法）などご利用さんの行動パターンや動きの速さに応じて設置して使用します。

センサーの設置例



※お部屋の状態によって設置場所を工夫する必要がある場合があります。

2. センサーを送信機に登録した上で、受信機、送信機を設置します。
3. センサー上に何も無いことを確認して【電源スイッチ】をONにします。
4. 利用者さんがセンサーを踏むと、受信機からアラーム音が鳴り介護者に知らせます。受信機の画面でも確認できます。

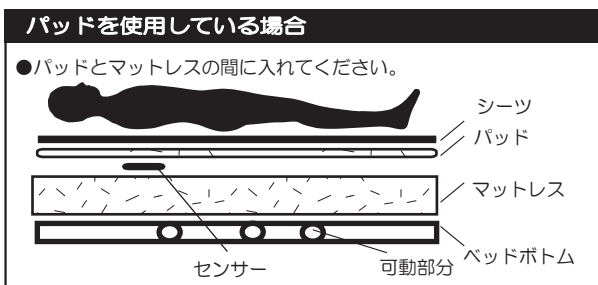
「コードレスベッドセンサーパッド」「コードレスロングライフマット（離床検知）」の設置と動作

転倒や徘徊の危険のある利用者さんが、ベッドから起き上がろうとした時に検知するために使用します。

1. センサーの置き方は利用者さんの状況により異なります。下の『離床センサー設置方法』、『離床センサーの設置位置』をご参照ください。
2. センサーを送信機に登録した上で、受信機、送信機を設置します。
3. 利用者さんの体重がセンサー上にかかっていることを確認して、【電源スイッチ】をONにします。
4. 利用者さんがセンサーを設置したベッドから離床すると、2秒後（標準設定時）に受信機からアラーム音が鳴り介護者に知らせます。受信機の画面でも確認できます。

離床センサー設置方法

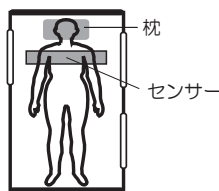
ご使用の寝具と利用者さんの間に設置し、利用者さんの加圧重力を離床センサーでモニターするものです。寝具によっては、離床センサーが動作しない場合があります。



離床センサーの設置位置

利用者さんの状態と主な使用目的によって設置位置が異なります。下図イラストを参考にし、適した設置位置（置き場所と傾き）を工夫してご使用ください。

転倒・転落される方 ▶ 背中置き



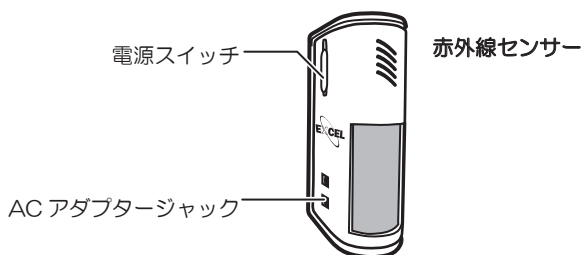
転倒の恐れがある場合は「背中置き」とします。少しの寝返りなどでもアラーム音が鳴るようにセットすることで転倒を事前に防ぐことや大事に至る前に助けることができます。

! 体重の軽い利用者さんの場合センサーが正常に反応しない場合もあります。

「コードレス赤外線センサー」の設置と動作

転倒や徘徊の危険のある利用者さんが、ベッドから起き上がろうとした時やドア元から出ようとしたとき検知するために使用します。

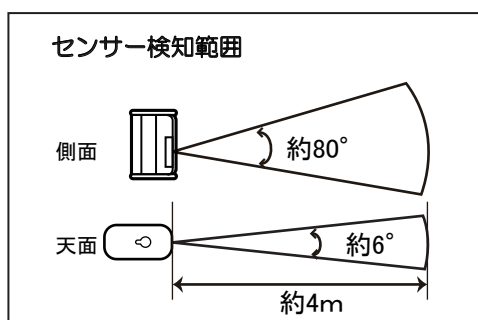
1. センサーを送信機に登録の上、受信機と送信機を設置します。
2. 「コードレス赤外線センサー」の検知範囲内に障害物が無いことを確認してセンサーの【電源スイッチ】を ON の位置にスライドし、受信機と送信機【電源スイッチ】を ON にします。
3. 利用者さんが「コードレス赤外線センサー」をさえぎると受信機からアラーム音が鳴り介護者さんに知らせます。受信機の画面でも確認できます。



電源 ON 時およびテストモードからの切替時にセンサー機能が安定するまで約 16 秒かかります。

「コードレス赤外線センサー」設定

1. コードレス赤外線センサーに乾電池(9V)を入れるか、AC アダプターに接続してコンセントに差込みます。
2. 【電源スイッチ】を【TEST】の位置にスライドして【テストモード】にします。
3. 【テストモード】では人が赤外線検知範囲内で動く度に赤外線センサー自体のアラームが【ピッ】と一回鳴ります。実際に電源を ON にして使用する際はアラーム音は鳴りません。(モニターのアラームが鳴ります。)
4. この【テストモード】で赤外線センサーの設置場所、角度等を適切な検知範囲となるよう調整します。



こんなときには・・・（故障とお考えになる前に）

症 状	原 因	処 置
電源を入れてもLEDがつかない	コンセントやジャックにきちんと差し込まれていない	コンセントやジャックに差し込まれているかどうか確認する。
	充電池の電池の残量がない	ACアダプターで充電する
センサーを動作させてもアラームが鳴らず、映像が映らない	受信機の電源が入っていない	受信機の電源を入れる
	送信機の電源が入っていない	送信機の電源を入れる
	送信機と受信機の距離が離れすぎている	送信機と受信機の距離を近づける
	受信機に送信機が登録されていない	送信機を登録する
	センサーが登録されていない	センサーを登録する
センサーを動作させるとアラームは鳴るが映像が映らない	画面が暗すぎる	受信機の明るさを調節する
映像が乱れる	他の無線機器が障害になっている	コードレス電話、トランシーバー、電子レンジなどの他の無線機器から離す

※上記の「処置」をほどこしても症状が変わらない場合はお買い求めの販売店、またはお客様相談室へご連絡ください。

主な仕様一覧

送信機	電源：5V ACアダプター
	充電池動作時間：1時間30分
	充電池充電時間：3時間
	消費電流：260mA
	撮像素子：1/4型CMOS
	視野角：60°
	サイズ：幅98x奥行89x高さ85mm
	質量：205g

受信機	電源：5V ACアダプター
	充電池動作時間：4時間
	充電池充電時間：3時間
	モニター：3.5インチ TFT 液晶
	消費電流：240mA
	サイズ：幅 125x奥行 90x高さ 23mm
	質量：155g

共通項目	使用周波数帯：2.4GHz
	無線到達距離：100m（直線見通し）
	動作温度：0-60℃
	保管温度：25℃±10℃
	動作湿度：20-80%

保証書 (保証規定)

- 「わカーる6900」はお買い上げの日から 1 年間保証いたします。
- お客さまが取扱説明書に従った使用状態のもとで、保証期限内に万一故障した場合には、無償で修理または交換をさせていただきます。
- 保証期限内でも次のような場合は有料修理とさせていただきます。
 - 本保証書のご提示のない場合
 - 本保証書にお客さま名、お買上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の仕様電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

* 故障品の修理を円滑にかつ迅速に行うため、修理をご希望の際は、お買い上げ店またはお客様相談室まで保証書を添付のうえ、ご郵送ください。
受信機か送信機のどちらの故障かわからない場合は、両方ともご郵送ください。

品番	受信機	RH-6900RX	問 合 せ 先	お客様相談室 株式会社エクセルエンジニアリング 〒760-0080 香川県高松市木太町835-1 TEL: 087-815-0805 FAX: 087-869-2701 http://www.excel-jpn.com
	送信機	RH-6900TX		
	離床	SR6900		
	徘徊	SH6900		
	赤外線	SH6900-MS2		
センサー セット品番	離床徘徊	SRH6900-LS		
製造番号				
保証期間	* お買い上げ日から 1 年間 お買い上げ日 年 月 日			
お客様	ご住所	〒		
	お名前	(フリガナ)		
	TEL	市外局番	()

販売店	製造元 株式会社エクセルエンジニアリング 〒101-0052 東京都千代田区神田 小川町2-12-14 晴花ビル9階
-----	---